

富山県生涯学習新世紀構想 - 学びあいビジョン - の見直しについて

1 新世紀構想の見直しの背景

県では、平成13年4月に、本県における生涯学習推進施策の指針となる「富山県生涯学習新世紀構想 - 学びあいビジョン - 」を策定し、県民だれもが自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果を生かして自己実現を図ることのできる生涯学習社会の形成をめざしてきました。

しかし、近年、県を取りまく環境は

- (1) 少子・高齢化の進展、グローバル化の進展、情報化の進展など、社会情勢が大きく変化していること。
- (2) 国や地方を通じて厳しい財政事情にあり、市町村合併が進められていること。
- (3) 各分野で生涯学習の裾野が広がり、市町村や民間教育事業者などにより、様々な講座が開催されるようになったこと。
- (4) 県の新しい総合計画の策定作業に着手することになったこと。
- (5) 平成16年3月29日に中教審生涯学習分科会からの審議経過の報告として、「今後の生涯学習の振興方策について」が提出されていること。

等など、時代は大きな変革期にあることから、このたび「生涯学習新世紀構想」の見直し作業を進めるものである。

2 見直しの進め方

- (1) 平成17～18年度には、新しい総合計画の策定作業が進められることから、この計画に合わせて、生涯学習新世紀構想の見直しを行う。
- (2) 生涯学習新世紀構想の見直しについては、生涯学習審議会においてその骨子を検討し、新しい総合計画の関係する課題別研究委員会での施策提言等を参考にしながら、幹事会や事務局において今後の取り組みや施策等について検討を加え、次回の生涯学習審議会に諮問する。
- (3) 新しい総合計画と生涯学習新世紀構想の見直しとは、整合性を図るため、生涯学習審議会での検討内容を新しい総合計画の策定作業で反映させる。
- (4) 新たな生涯学習新世紀構想は、生涯学習審議会の答申を受け、平成18年度秋頃までに決定する。

全体のスケジュール（予定）

